

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 20日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府大阪市浪速区敷津東1-2-47 氏 名 株式会社 クボタ建設 大阪支社 執行役員大阪支社長 進藤 方海 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-4396-2351	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	今池水みらいセンター包括管理事業 06泉北代替事務所
事業場の所在地	大阪府松原市天美西7丁目地内 今池水みらいセンター内 大阪府高石市高砂3丁目1番地大阪ガス(株) 泉北製造所内
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	年間完成高(大阪支社) 9,204百万円(2023年年度実績)
③従業員数	112名(大阪支社 4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・建設汚泥 処理業者(脱水)委託(再資源化) ・がれき類 処理業者(破碎)委託(再資源化) ・建設系管理型混合物 処理業者(破碎選別)委託(再資源化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙 管理体系図添			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	排出量	5784 t	20.72 t
	(これまでに実施した取組)		
	建設汚泥の排出が多く出る工事が昨年度は続いていた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	排出量	550 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)		
	今年度は建設汚泥を排出する工事が終了したため、排出量が抑えられると予想される。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	配水場内からの排出や、工場内からの排出になる為、排出物の管理はしやすいといえる。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	現状を維持し、適正管理に努める。		

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	—
432 t	100 t	13.91 t	— t
【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
300 t	50 t	10 t	— t

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
— t	— t	— t	— t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	全処理委託量	5784 t	20.72 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	20.72 t
	再生利用業者への 処理委託量	5784 t	20.72 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	建設汚泥の排出が多く出る工事が昨年度は続いていた。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	—
0 t	0 t	0 t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物	—
432 t	100 t	13.91 t	— t
0 t	0 t	3.12 t	— t
432 t	100 t	13.91 t	— t
0 t	0 t	0 t	— t
0 t	0 t	0 t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	がれき類
	全 処 理 委 託 量	550 t	10 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	10 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	550 t	10 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	今年度は建設汚泥を排出する工事が終了したため、排出量が抑えられると予想される。		
※事務処理欄			

(第5面)

【目標】			
コンクリート破片	ファルト・コンクリート	管理型建設混合廃棄物	－
300 t	50 t	10 t	－ t
0 t	0 t	0 t	－ t
300 t	50 t	10 t	－ t
0 t	0 t	0 t	－ t
0 t	0 t	0 t	－ t

【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

【目標】			
—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

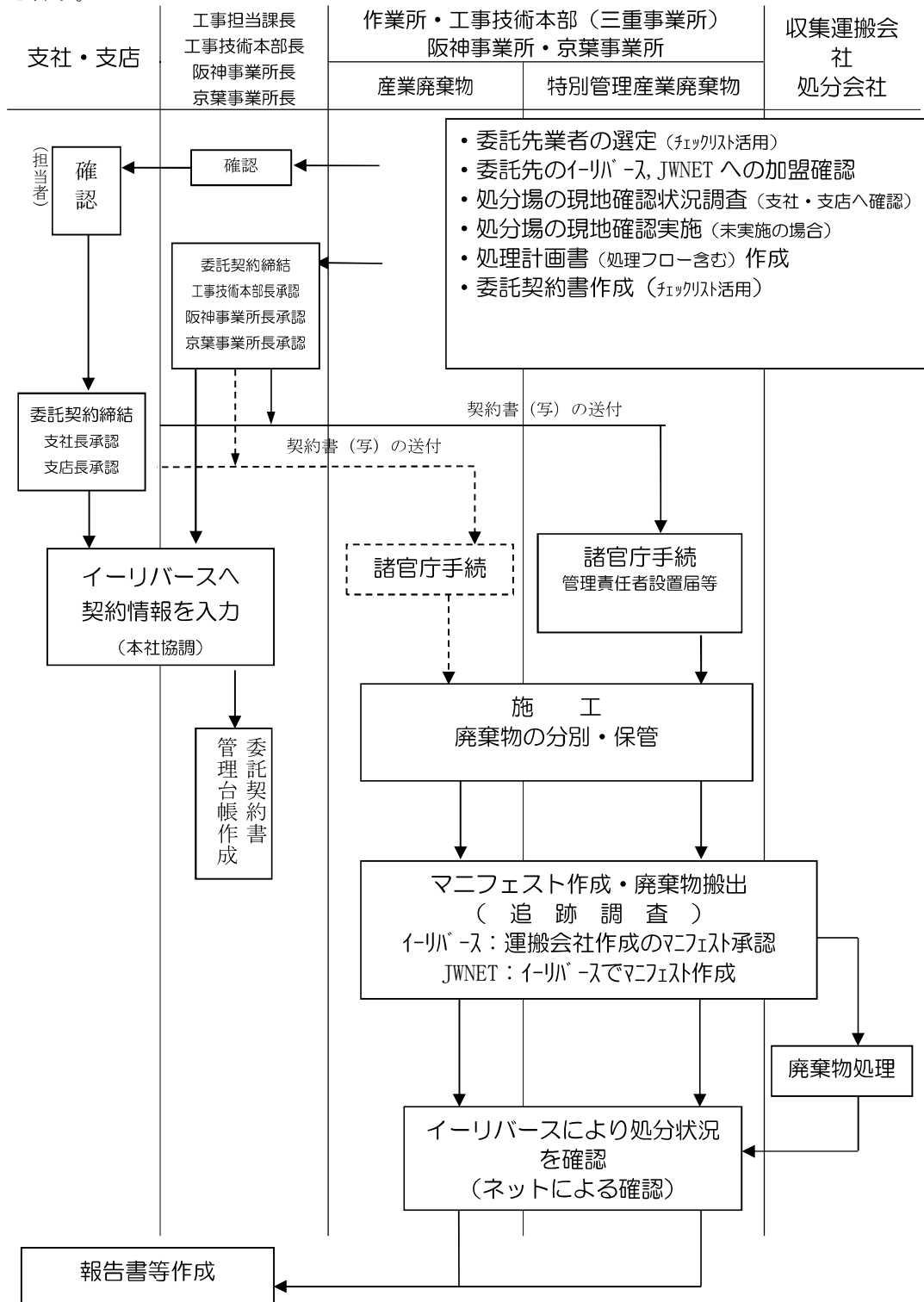
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別表2 廃棄物管理フロー（電子マニフェストの場合）

管理は以下のフローにより行う。作業所長はチェックリスト等を用いて、随時チェックを行う。



別表3 廃棄物管理フロー（紙マニフェストの場合）

管理は以下のフローにより行う。作業所長はチェックリスト等を用いて、随時チェックを行う。

